

今後も本学会の活動を通じて「医療の質向上」に努めてまいりたいと考えておりますので、引き続きご支援・ご協力のほど宜しくお願いいたします。

第3回宮崎県支部学術集会

当番世話人：古賀総合病院消化器外科部長 谷口正次



会場風景

2009年11月28日(土)、第3回日本医療マネジメント学会宮崎県支部学術集会は「明日から役立つ医療マネジメント」をメインテーマに、宮崎市さどわらくじら館にて開催されました。

参加者総数205名、一般演題25題・クリティカルパス展示17題、基調講演・シンポジウム等が行われ、多職種による活発な議論が展開されました。基調講演は、当会支部長の豊田清一宮崎県立病院院長より「地域医療再生を願って」と題し、地域医療連携の重要性についてご講演頂きました。シンポジウムは2テーマ、①は「DPC導入前後の問題点と解決法」と題し、DPC導入に携わられた県内各施設の方々に発表して頂き、②は「宮崎県のがん診療における地域連携の現状と課題」と題し、ランチョンセミナーに招請した九州がんセンター統括診療部長の藤也寸志先生にもご参加頂き、がん診療連携について活発な質疑・応答が行われました。次回は、永井知幸先生を当番世話人として都城市にて開催の予定です。

(文責：医療法人同心会古賀総合病院看護部長 境 孝子)

第5回和歌山支部学術集会

当番世話人：済生会和歌山病院病院長 松崎交作



会場風景

第5回日本医療マネジメント学会和歌山支部学術集会は、2009年12月12日(土)、和歌山県勤労福祉会館にて開催され、一般演題数50題、302名の参加がありました。

今回は、「スキルミックスと医療マネジメント」をテーマとし、シンポジウムには、「医師及び医療関係職との役割分担をスムーズに行うには」を組み、医師、看護師、事務、診療技術部のそれぞれの立場から発表して頂きました。さらに特別講演I「リスクマネジメントー安全・安心確保のために」を日本航空機長 小林宏之先生に、特別

講演II「スキルミックスとチーム医療」を国際医療福祉総合研究所長・国際医療福祉大学大学院教授 武藤正樹先生に講演して頂きました。またランチョンセミナーでは「NSTが目指す新たな栄養サポートシステム～明日から役立つ栄養療法～」を若草第一病院院長 山中英治先生に講演して頂きました。何れも大変素晴らしい内容で、活発で熱心な議論が行われ盛会の内に終了できましたことを報告いたします。

(文責：済生会和歌山病院 診療技術部兼薬剤部長 丸山秀夫)

第3回大阪支部学術集会

学術集会会長：社団法人大阪府看護協会会長 豊田百合子



会場風景

皆様こんにちは。

大阪支部は、2010年1月16日(土)、「医療マネジメントの変革にスイッチON」というテーマを掲げ、大阪府看護協会で開催いたしました。

参加者約500名、一般演題32題、ポスター11題と多数の応募があり、大成功のうちに終了いたしました。医師、看護師、訪問看護ステーション、理学療法士等他部門からの参加もあり、今後この学会が大きくなればたく基礎ができた学術集会だったと思います。

政権交代という時代のうねりの中で、保健医療福祉の現場の声が、どのようなプロセスを経て国政につながるのか、国の仕組み、金の流れを知ることが日本医療マネジメント学会の源でもある様な気がいたしました。エネルギーをつぎ込んだ一日でしたが、満足感のある一日でもありました。すべての協力者に感謝いたします。

第5回奈良支部学術集会

当番世話人：奈良県立三室病院院長 橋本俊雄



会場風景

2010年2月6日(土)、奈良県社会福祉総合センター(橿原市)に於いて第5回奈良支部学術集会が開催され、関係者を含めて383名が参加しました。

今回は「輝かそう奈良の医療」をメインテーマに、ランチョンセミナー、パネルディスカッション、一般演題(口演と示説)、特別講演を行いました。(次頁へ)